

笛を吹きて悪魔が来たる

梗概

高校サッカー地区大会決勝。

大手町高校一年の桑田（16）は負傷中のエースストライカー愛甲（18）に代わってレギュラーを任される。

桑田は他の部員らと共に愛甲を全国へ連れていく誓いを立てて試合に臨むも、大役を背負った重圧から空回りする。

そんな中、上空を飛ぶ巨大な悪魔（43）が審判の笛の音に引き寄せられてサッカー場へと近づいてくる。

前半戦終了の笛と共に悪魔はピッチ上空に現れ、後半戦から悪魔による捕食が始まる。

試合中、悪魔は笛が鳴る度に選手たちを次々と飲み込んでいく。

選手が減っていく中で、桑田はレギュラーの重圧を乗り越え、見事チームを勝利に導く。

しかしそんな桑田も試合終了の笛で悪魔の餌食になり、腹を満たした悪魔は無人になったピッチから飛び去っていく。

一ヶ月後。怪我から復帰した愛甲は桑田らいレブンの遺志を継ぎ、たった一人で全国大会へと臨むのだった。

《登場人物》

桑田 (16) 大手町高校サッカー部員

愛甲 (18) 大手町高校サッカー部員

北別府 (18) 大手町高校サッカー部員

八重樫 (17) 大手町高校サッカー部員

りか (17) 大手町高校サッカー部マネー

ジャー

小宮山 (17) 神宮高校サッカー部員

南淵 (49) 大手町高校サッカー部監督

権藤 (50) 神宮高校サッカー部監督

観客

患者 1

患者 2

愛甲の母

愛甲の父

悪魔 (43)

○大手町病院・外観

○同・病室

愛甲（18）、窓の外を見ている。

愛甲、松葉杖をついている。

愛甲の右足にギブス。

LINEの音が鳴る。

愛甲、ポケットからスマホを取り出す。

スマホに以下の文字。

「もうすぐ決勝戦が始まります」

愛甲「…」

○サッカー場

「地区大会決勝」の横断幕。

客席に応援団や高校生らの姿。

○同・大手町高校ベンチ

南淵（49）、ベンチに座って選手たち

に話をしている。

南淵「とにかく攻めろ」

桑田（16）、北別府（18）、八重樫

(17)ら、聞いている。

南淵「攻めのサッカーでここまで来たんだ。最後まで自分たちのサッカーをしようじゃないか」

選手ら、頷く。

南淵「桑田、愛甲の代役はお前しかない。任せろぞ」

桑田「(緊張している)」

ベンチの近くで、りか(17)、スマホを握りしめている。

○同・神宮高校ベンチ

権藤(50)、小宮山(17)ら選手たちに話している。

権藤「いいか。相手チームはエースストライカーが怪我で欠場している。分は間違いなく我々にある」

選手ら、頷く。

権藤「小宮山、作戦通りお前は温存する」

小宮山「(不敵に笑う)」

○同・大手町高校ベンチ前

大手町高校の選手たちが円陣を組んで
いる。

りか、走ってくる。

りか「愛甲先輩からメッセージが！」

りか、スマホを見せる。

スマホ画面に以下のメッセージ。

「俺たちの心は一つ！」

選手ら、顔つきが引き締まる。

北別府「（皆へ）勝って愛甲を全国に連れて
いこう！」

選手ら「おう！」

○病院・病室

愛甲、スマホを見つめる。

愛甲「…みんな、頼んだぞ」

○サッカー場・ピッチ

選手たち、ピッチ上に散らばっている。

北別府、センターサークルにボールをお
く。

主審、キックオフの笛を吹く。

上空に鳴り響くホイッスルの音。

○遠くの中

翼の生えた巨大な悪魔（43）が飛んでいる。

悪魔、何かに反応し、停止する。

悪魔、きよろきよろと辺りを伺う。

○サッカー場・ピッチ

北別府、ドリブルで相手選手を抜く。

北別府、桑田にパスを送る。

桑田、パスを受け取る。

桑田、絶好のシュート位置。

北別府「（叫ぶ）桑田っ！」

桑田、シュートする。

が、ゴールから大きく外れる。

○同・神宮高校ベンチ

小宮山、座っている。

小宮山「あの一年、動きがガチガチじゃないか（と薄ら笑う）」

○同・ピッチ

桑田、ドリブルしている。

桑田、パスミスをする。

相手選手にボールが渡ってしまふ。

○遠くの空

悪魔、ゆっくりと飛んでいる。

○サッカー場・ピッチ

桑田、表情が冴えない。

桑田にボールが回ってくる。

桑田、ミドルシュートを放つもゴールか

ら大きく外れる。

○同・大手町高校ベンチ

りか、桑田を祈るように見つめている。

○大手町高校・グラウンド（回想・夜）

桑田、居残りでシュート練習をしている。

鋭いシュートがバシバシ決まる。

桑田、ボールを蹴ろうとする。

と後ろから声がする。

声「不思議なもんだな」

桑田、振り返る。

愛甲、立っている。

桑田「愛甲さん……」

愛甲「練習じゃ誰よりもいいシュートをするのに試合になるとからっきし」

桑田「……」

愛甲「本番に弱いタイプってやつか」

桑田「（弱々しく笑う）」

愛甲、ボールを蹴る。

豪快なシュートがゴールネットを揺らす。

愛甲「練習、付き合ってやるよ」

桑田「あ、はい！」

愛甲「腹ぺこなんだ。先にシュート外したほうが飯代オゴりな（と涼しく笑う）」

桑田「（笑う）」

りか、二人を遠くから見ている。

○（戻って）サッカー場・大手町高校ベンチ
りか「（呟く）頑張ってる！」

○同・ピッチ

桑田、ドリブルをする。

桑田、相手DFを抜きにかかると。

桑田、勢い余って相手選手を押し倒して
しまう。

桑田「（しまった！）」

○上空

微かに鳴り響く笛の音。

悪魔、ぴくりと反応する。

悪魔、笛の音の方へ向かう。

○サッカー場・ピッチ

相手選手、倒れ込んでいる。

試合、中断する。

北別府と八重樫、桑田のもとへやってくる

る。

八重樫「（怒鳴る）おいッ。さっきから何やってる！」

桑田「…すみません」

北別府「桑田、もっと肩の力を抜け」

桑田「…はい」

北別府「監督は愛甲の代役とあったが、俺たちはお前に愛甲の代わりなんか求めてない。お前のベストを尽くせばいいんだ」

桑田「…」

×

×

×

神宮高校のフリーキック。

神宮高校の選手、ボールを蹴る。

ボール、大きく風に乗る。

神宮高校FW、いい位置でボールを受け

取る。

北別府「まずい！」

神宮高校FW、ドリブルでペナルティエ

リアへと切り込む。

八重樫、立ちはだかる。

八重樫、競り勝つ。

北別府「ナイスだ！ 八重樫！」

八重樫、ドリブルで抜け出す。

相手選手がボールを奪おうとする。

八重樫、足がもつれて転んでしまう。

主審の笛が鳴る。

主審、イエローカードを出す。

○同・客席

観客、飲み食いしながら見ている。

観客「シミュレーションを取られたか」

○同・ピッチ

八重樫、主審に詰め寄る。

八重樫「（抗議する）足がもつれたんですよ！

わざとじゃありません！」

主審、首を振る。

八重樫「なんでですか！ わざとじゃないつ

ていってるだろ！」

主審、警告として何度も笛を鳴らす。

北別府、八重樫を制止する。

北別府「やめろ。退場したいのか！」

八重樫「…」

×

×

×

神宮高校、絶好の位置でのフリーキック。

ク。

神宮高校の選手、ボールの前に立つ。

主審、笛を構える。

○上空

笛の音が空に響き渡る。

悪魔の視線の先にサッカー場がぼつりと

見える。

悪魔、サッカー場へ近づいていく。

○サッカー場・ピッチ

ボールが大手町高校のゴールネットを揺

らす。

神宮高校の選手ら、喜んでいる。

○同・スコアボード

以下の表示。

「前半 大手町高校 ○

神宮高校 〇」

○同・ピッチ

八重樫、うなだれる。

八重樫「クソっ…俺のせいだ…」

○上空

悪魔、飛んでいる。

悪魔の視線の先、サッカー場がハッキリ

見える。

○サッカー場・スコアボード

以下の表示。

「前半 大手町高校 ○

神宮高校 〇」

前半終了を告げる笛が響く。

笛の音「（ピッ、ピッー！）」

スコアボードに巨大な影が差し込む。

○同・ピッチ

悪魔、ピッチ上空に現れる。

○同・大手町高校ベンチ

桑田、ベンチに腰をかける。

桑田、タオルで顔を覆って天を仰ぐ。

桑田、タオルをとる。

真上に巨大な悪魔。

桑田、悪魔と目があう。

桑田「（絶叫する）うわあああああああああ

あああああああああああああああああ

ああああああああああああ！！！！」

桑田、腰を抜かす。

北別府、桑田を見て、

北別府「恐れるな！」

桑田「で、でも……」

北別府「怖いのは相手チームも同じだ」

相手選手ら、涼しい顔をしている。

○同・神宮高校ベンチ

権藤、小宮山へ告げる。

権藤「出番だ。とどめをさしてこい」

小宮山「任せてくださいよ（と自信ありげ）」

○同・大手町高校ベンチ

大手町高校の選手ら、円陣を組む。

北別府「（皆へ）試合はここからだ！」

選手ら「おう！」

北別府「桑田！ やれるのか！」

桑田「（自らを奮い立たす）やってやる！ やってやるぞ！」

○病院・病室

愛甲、スマホを見る。

りかからのLINE。

「前半は0対1です」

愛甲「（つぶやく）みんな、頑張ってくれ」

○サッカー場・ピッチ

選手ら、ピッチ上に散らばっている。

小宮山、センターサークルに立っている

る。

主審、後半戦開始の笛を鳴らす。

悪魔、笛の音に反応し、センターサークルに急降下する。

悪魔、小宮山を丸飲みする。

小宮山、ピッチ上から消える。

以下、笛が鳴る度に悪魔が選手を丸飲みしていく

両チームの選手ら、センターサークルに取り残されたボールへ向かっていく。

選手ら、ボールを奪い合う。

神宮高校、競り勝つ。

神宮高校の選手ら、パスを回していく。

大手町高校 Σ 、チャージをする。

相手選手、衝撃で転ぶ。

主審、笛を鳴らす。

悪魔、笛の音に反応して急降下。

大手町高校 Ω を一人丸飲みする。

○同・客席

観客、見ている。

観客「今日は反則が多いな」

○同・スコアボード

時計の針が進んでいる。

○同・ピッチ

ボールを奪い合う選手たち。

両チームの選手、半減している。

○同・大手町高校ベンチ

悪魔、ベンチの上にいる。

ピッチから主審の笛の音が響く。

悪魔、監督の南洲を丸飲みする。

○同・スコアボード

時計の針がさらに進んでいる。

○同・ピッチ

ボールを奪い合う選手たち。

両チームの選手、さらに減っている。

○同・神宮高校ベンチ

ガラガラになっている。

○同・ピッチ

北別府、ドリブルをする。

北別府、相手選手の強烈なスライディング

グタツクルが足に直撃する。

北別府「（叫ぶ）」

北別府、倒れ込む。

主審の笛が鳴る。

悪魔、急降下して八重樫を丸飲みする。

大手町高校の選手ら、北別府のもとへ駆

け寄る。

北別府、足を押さえながら苦痛に顔を歪

めている。

桑田「キャプテン！」

担架、やってくる。

北別府、担架に乗せられる。

北別府「（呻く）桑田……」

桑田「……？」

北別府「全国に：いきたくないのか？」

桑田「（うつむく）」

北別府「前を向け：お前の力はこんなもんじやないことは：それは俺たちが一番よく知ってる：」

桑田「：」

北別府「胸を張るんだ。見せつけてやれ：お前の力をみんなにわからせてやれッ」

×

×

×

大手町高校のフリーキック。

桑田、ボールの前に立っている。

神宮高校の選手ら、壁を作っている。

○同・大手町高校ベンチ

りか、祈っている。

○同・ピッチ

主審が試合再開の笛を鳴らす。

悪魔、急降下して壁の選手を一人ついはむ。

壁に隙間ができる。

桑田「ここだああー！！！！」

桑田、シュートをする。

ボールは壁の隙間を通り抜け、そのまま
ゴールネットを揺らす。

桑田、歓喜の表情。

○同・ピッチの外

北別府、スタッフの手当を受けている。
りか、やってくる。

りか「（叫ぶ）キャプテン！ 決めました！
桑田くんが決めました！」

北別府「（微笑む）」

○同・スコアボード

以下の表示。

「後半 大手町高校 ー

神宮高校 〇」

○同・ピッチ

主審、時計を見ている。

桑田、ドリブルで切り込む。

桑田、鋭いシュートを放つ。

惜しくもゴールポスト。

主審、後半終了の笛を鳴らす。

笛の音「(ピッ、ピッ、ピー!)」

悪魔、笛の音に合わせて、りか、北別

府、副審の三人を丸飲みする。

○同・客席

観客「延長戦か…」

○病院・病室

愛甲、スマホを握りしめている。

○サッカー場・スコアボード

以下の表示。

「延長前半 大手町高校 〇

神宮高校 〇」

「延長後半 大手町高校 〇」

神宮高校 〇」

○同・ピッチ

主審、延長後半終了の笛を鳴らす。

笛の音「（ピッ、ピッ、ピー！）」

悪魔、笛の音に合わせて、選手三人を丸飲みする。

○同・客席

観客「PKか…」

○同・ピッチ

以下、映像下部にPKのスコア表がテロップで表示される。

悪魔に食べられずに残っている選手は両

チーム合わせて二人。

神宮高校一人目のキッカー、ボールの

前に立つ。

大手町高校GKがゴールを守る。

主審、合図の笛を鳴らす。

悪魔、笛の音に合わせてキッカーを食べる。

スコア表の先攻一人目に×印がつく。

× × ×

大手町高校一人目のキッカー、ボールの前に立つ。

神宮高校のズがゴールを守る。

主審、合図の笛を鳴らす。

悪魔、笛の音に合わせてキッカーを食べる。

スコア表の後攻一人目に×印がつく。

× × ×

スコア表に×印が並んでいる。

神宮高校一人目のキッカー、ボールの前に立つ。

大手町高校のズがゴールを守る。

主審、合図の笛を鳴らす。

悪魔、笛の音に合わせてキッカーを食べる。

スコア表の先攻一人目に×印がつく。

× × ×

大手町高校の人のキッカーは桑田。

桑田、ボールの前に立つ。

神宮高校のGKがゴールを守る。

主審、合図の笛を鳴らす。

悪魔、神宮高校のGKを食べる。

がら空きになったゴール。

桑田「うおーーーーー！！！！」

桑田、シュートを放つ。

桑田のシュートがゴールネットを揺ら

す。

スコア表の人の人目後攻に○印がつく。

主審、試合終了の笛を鳴らす。

笛の音「(笛の音)ピッ、ピッ、ピー！」

悪魔、笛の音に合わせて大手町高校のGK

と桑田と主審の三人を食べる。

無人になったピッチ。

悪魔、腹を満たして悠然と飛び去ってい

く。

○病院・病室

愛甲、スマホを見ている。

愛甲「（落ち着かず）おかしい…とっくに試合は終わっているはずなのに…」

患者たちの話し声がする。

患者「大手町高校、全国決めたってよ」

患者「へえ。すごいじゃないか」

愛甲、思わず駆け寄る。

愛甲「ほ、本当ですか?!」

患者「（面食らいつつ）うん。応援にいった娘から聞いたから間違いない。『対』のまま『対』までもつれこんだけど、最後は一年生が決めたってよ」

愛甲「（喜びがこみあげる）」

○サッカー場（一ヶ月後）

客席に応援団。

愛甲、喪章をつけて入場してくる。

愛甲の後ろに少年サッカーの子供たち。

子供たち、桑田ら大手町高校サッカー部員の遺影を掲げている。

○同・客席

愛甲の両親、見ている。

父「（心配）一人で大丈夫か？」

母「仲間が掴み取ってくれた切符だからって。あの子、一人でも諦めないって」

○サッカー場

愛甲、センターサークルに立つ。

愛甲、ボールをおく。

主審、キックオフの笛を吹く。

上空に鳴り響く笛の音。

○タイトル

（おわり）